

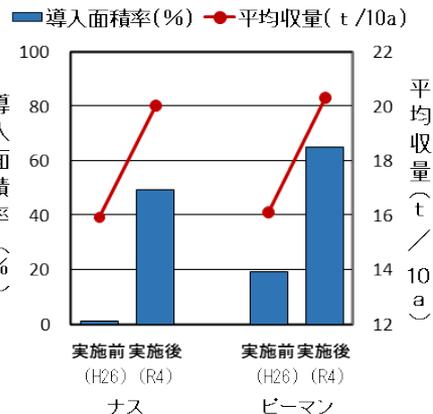
導入対象の概要

(令和6年3月現在)

- ・所在地：安芸農業振興センター管内（芸西村、安芸市、安田町、田野町、北川村、奈半利町、室戸市、東洋町）
- ・導入対象：管内施設園芸経営体（994戸、298ha）
- ・導入実績（CO₂発生器：103.4ha）
- ・栽培作物：果菜類（ナス、ピーマン等）、花き類（トルコギキョウ、オリエンタルユリ等）

導入技術

- ・CO₂発生器（グロウエア〔ネポン(株)〕、光合成促進機〔フルタ電気(株)〕等）
- ・環境測定装置（プロファイnder〔(株)誠和〕、ハッピー・マインダー〔(株)四国総研〕等）
- ・その他（日射比例灌水装置、細霧発生装置、統合環境制御装置、除湿機、ファインバブル混入機など）



※導入面積率はCO₂発生器についての集計値



CO₂発生器と環境測定装置(右上)

導入経緯

- 安芸管内は冬春ナス（生産量日本一位）、ピーマン、花き等、施設園芸地域であるが、高齢化や生産資材の高騰などにより農家経営は厳しい状況が続く。
- 高知県では平成21年度よりオランダ・ウェストラント市との交流を契機に環境制御技術の開発と現地実証に取り組み、増収効果を確認してきた。
- 安芸地域ではH27年度に環境制御技術普及推進会議を設置し、JA、園芸連、県が連携して環境制御関連機器の導入を推進し、生産量の向上を目標に取り組んできた。

取組の特徴・効果

- (国)産地パワーアップ事業、(県単)環境制御技術普及促進事業を活用して環境制御関連機器導入を促進。
- 生産部会だけでなく、環境制御技術向上を目的とした研究会・勉強会の設立および自主的な活動を支援。
- 今後は、未導入の経営者に対する支援、病害防除を目的とした環境制御技術の検証、増収に伴う労働負担への対策に取り組む予定。
- 【導入実績と効果（H26年度→R5年度）】
 - ・導入面積率
 (CO₂発生器：ナス 1%→50%、ピーマン 19%→65%
 環境測定装置：ナス 1%→52%、ピーマン11%→48%)
 - ・10a当たり平均収量の向上
 (ナス：15.9 t → 20.0 t、ピーマン：16.1 t → 20.3 t)